

狩猟免許更新講習 資料集⑥

事故防止（わな）

環境省自然環境局

野生生物課 鳥獣保護管理室

更新講習科目

(ア) 鳥獣の保護及び管理並びに狩猟に関する法令

- (i) 鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律、同法施行令、同法施行規則及び同法に基づく環境省告示並びに都道府県の告示及び同法に関する都道府県の条例、規則、告示
- (ii) 絶滅のおそれのある野生動植物種の種の保存に関する法律、自然公園法、自然環境保全法、文化財保護法、銃砲刀剣類所持等取締法及び火薬類取締法、特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律中の鳥獣又は狩猟に関する事項

(イ) 鳥獣の判別

狩猟鳥獣及び狩猟鳥獣と誤認されやすい鳥獣の形態、生態、識別の概要

(ウ) 猟具の取扱い

- (i) 網及びわなの種類、構造及び装置方法の概要並びに使用上の注意事項
- (ii) 使用禁止の猟具と法定猟具の区別
- (iii) 銃器の種類、構造及び威力の概要
- (iv) 銃器の操作方法並びに保管、携帯及び運搬の要領

(v) 事故防止の注意事項

(エ) 鳥獣の保護及び管理に関する知識

- (i) 鳥獣の保護及び管理（個体群管理、被害防除対策、生息環境管理）の概要
- (ii) 錯誤捕獲の防止
- (iii) 鉛弾による汚染の防止（非鉛弾の取扱い上の留意点）
- (iv) 人獣共通感染症の予防
- (v) 外来生物対策

鳥獣捕獲における安全確保

1. 捕獲者の安全管理に関する心構え
2. 銃器による捕獲の安全確保
3. わなによる捕獲の安全確保

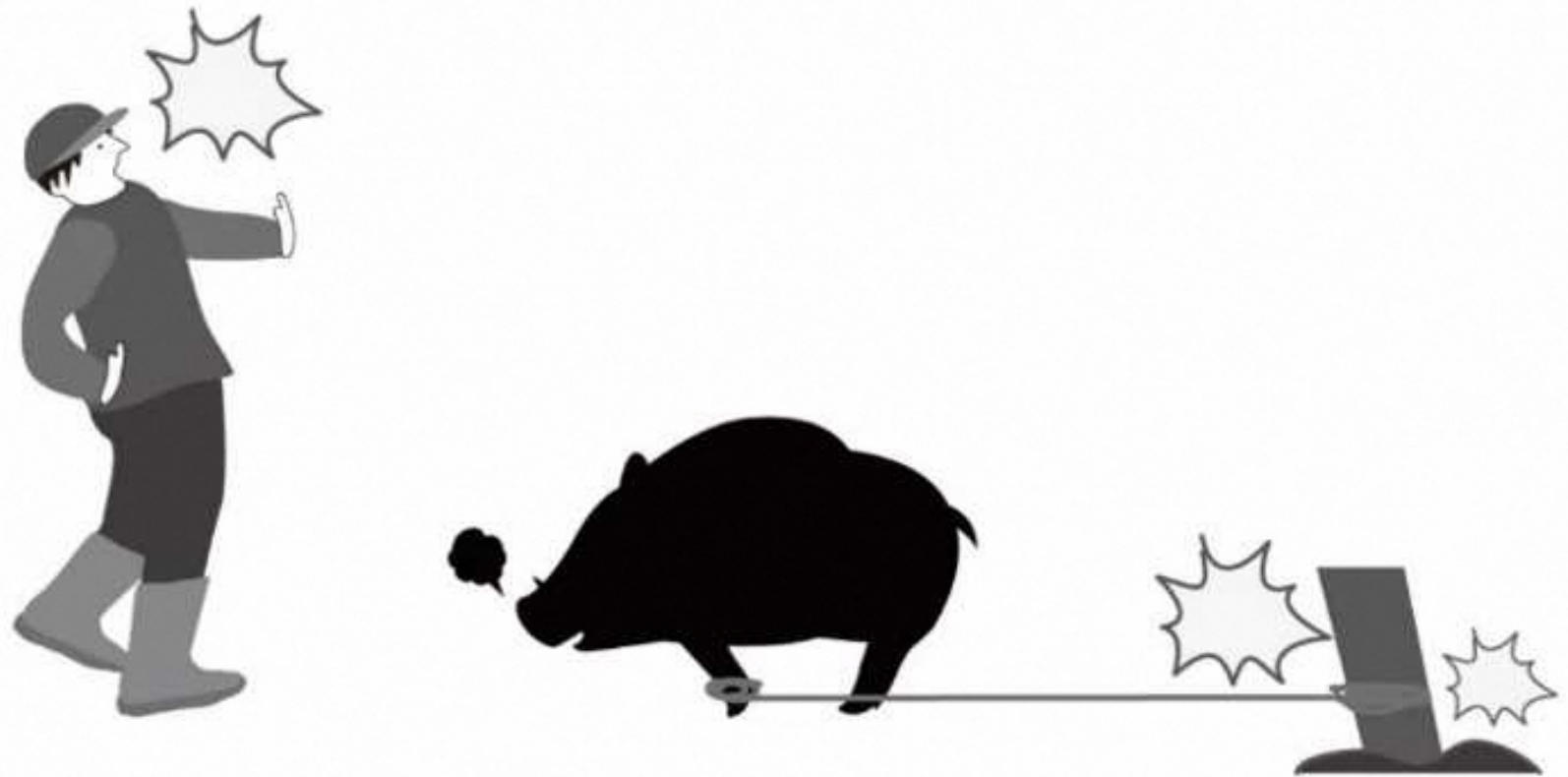
わなの作動に関する注意

- 大型動物を拘束できる強力なわなは、人にとっても危険。
- 仕組みや取扱いに習熟する。
- 誤作動による危険を回避する。
- 誤って人が近づいて作動しないように、設置場所を工夫したり、標識等で注意喚起を行う。

捕獲された後の動物に関する注意

- しっかりと鳥獣が拘束されているか確認する。
- 一般の人が近づく危険も想定する。
- 自分が近づく時にも細心の注意を払う。

※ わなの選定、設置場所、設置方法など準備段階から注意をする。



くくりわなでの捕獲後の状況

イノシシ



シカ



○ 近づく際には次のことを確認すること。

- ・ 周囲の安全確認。
- ・ くくられた足・根付の確認。

わなの選定

- 対象鳥獣をしっかりと拘束できる機構や強度を持ったわなを選ぶ。
- 安全に操作や管理ができるものを選ぶ。
- 現時点では、わなの強度や仕様について、対象鳥獣ごとに明示できる基準はないが、経験則に基づいて判断することと、客観的な情報を蓄積することが重要。

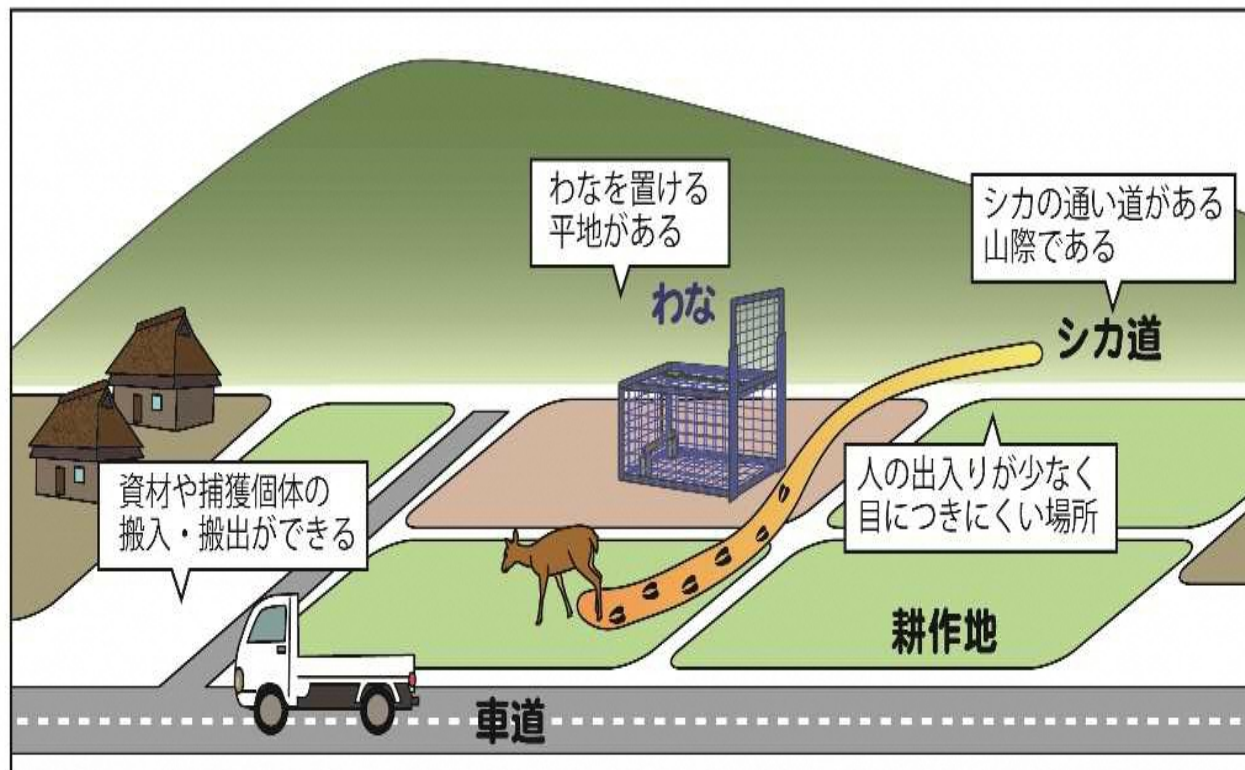
わなの設置場所の選定（1）

○ 運用面

- ・ 捕獲しやすい場所
- ・ 見回りのしやすい場所
- ・ 処分・搬出がしやすい場所
- ・ 土地占有者の承諾が得られる場所

○ 安全面

- ・ 一般の人があまり出入りしない場所
- ・ 標識等により設置がわかりやすい場所
- ・ 見通しが良い場所 など



わなの設置場所の選定（2）

○ 見通しの悪い場所にわなを設置すると危険が増す。



わなの設置方法

- 箱わなや囲いわなは適切に組立て動作確認をする。
- イノシシのような土を掘る対象に対しては床面と壁面の接続部を補強する。
- くくりわなはワイヤーの端をしっかりと固定する。
- 標識を見やすい場所に設置する。



毎日の見回りの徹底

- 捕獲個体を早期に発見し、適切に処理することで安全性を確保する。
- 捕獲効率の向上のためにも、見回りは必要。
- わなに近づく際は、捕獲された鳥獣に注意が必要。
- 錯誤捕獲の防止のためにも、見回りを徹底する。



○ 見回りで改善が必要

← 露出したわな

作動しないわな

